

平成21年

乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会会議録

開会：平成21年6月26日

乙訓福祉施設事務組合議会

平成 2 1 年乙訓福祉施設事務組合議会第 2 回定例会

目 次

出席議員	1
欠席議員	1
事務局職員出席者	1
説明のため出席した者	1
議事日程	2
開 会	3
日 程 1 会議録署名議員の指名	3
日 程 2 会期の決定	3
日 程 3 管理者諸報告	3
日 程 4 例月出納検査結果の報告	5
日 程 5 第 9 号議案 京都府市町村職員退職手当組合を組織する地 方公共団体の数の減少及び京都府市町村職員 退職手当組合規約の変更について	5
日 程 6 議員の派遣について	6
閉 会	1 4

平成 2 1 年乙訓福祉施設事務組合議会第 2 回定例会

議 事 日 程

平成 2 1 年 6 月 2 6 日 (金)

午前 1 0 時 0 0 分開議

出席議員 (9 名)

向日市	山田千枝子議員	飛鳥井佳子議員
	長尾美矢子議員	
長岡京市	能勢昌博議員	瀬川光子議員
	祐野恵議員	
大山崎町	山本圭一議員	西林哲人議員
	朝子直美議員	

欠席議員

なし

議会事務局職員出席者

河原崎 清 隆 書記

地方自治法第 1 2 1 条の規定により、説明のため出席した者 (1 1 名)

久嶋 務	管理者 (向日市長)
小田 豊	副管理者 (長岡京市長)
真鍋 宗平	副管理者 (大山崎町長)
前田 進	監 査 委 員
上田 久幸	事 務 局 長
栗山 博臣	会計管理者 (向日市会計管理者)
谷川 康信	総 務 課 長
行田 秀生	乙訓若竹苑施設長
渡辺 三知雄	乙訓ポニーの学校施設長
齋藤 利彦	介護障害審査課長
藤本 正次	総 務 課 主 幹

議事日程

日程 1 会議録署名議員の指名

日程 2 会期の決定

日程 3 管理者諸報告

日程 4 例月出納検査結果の報告

日程 5 第 9号議案

京都府市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少
及び京都府市町村職員退職手当組合同規約の変更について

日程 6 議員の派遣について

会議録署名議員

長岡京市 祐野 恵 議員

大山崎町 西林 哲人 議員

(開会 午前9時58分)

山本圭一議長 ただいまの出席議員数は9人であります。

それでは、ただいまから、平成21年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を開会いたします。

それでは、これより日程に入ります。

日程1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第75条の規定によりまして、長岡京市の祐野 恵議員、大山崎町の西林哲人議員を指名いたします。

山本圭一議長 日程2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。今定例会の会期は、本日1日限りといたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、さよう決めます。よって、会期は本日1日限りといたします。

山本圭一議長 日程3、管理者諸報告です。

久嶋管理者。

久嶋 務管理者 本日ここに、平成21年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を招集させていただきましたところ、議員各位にはお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、3月定例議会以降の報告をさせていただきます。

まず最初に、総務関係でございます。

3月31日をもって任期満了になりました情報公開・個人情報保護審査会委員の委嘱のため、去る6月5日に今年度第1回の情報公開・個人情報保護審査会を開催いたしました。各委員に委嘱状を交付し、龍谷大学大学院法務研究科教授の本多滝夫委員が会長に再選されました。委員構成は知識経験者の大学教授2名、弁護士2名、行政経験者1名の合わせて5名でございます。任期は平成23年3月31日までの2年間でございます。

次に、若竹苑の関係でございます。

現在の利用者数につきましては、就労移行支援事業12名、就労継続支援事業30名、生活介護事業6名となっております。市町別の利用者数は、向日市の方が13名、長岡京市の方が28名、大山崎町の方が4名、京都市の方が3名でございます。また、地域生活支援事業の登録者数は、地域活動支援センター事業17名、日中一時支援事業31名となっております。

まず初めに、給食調理業務委託についてでございます。

3月、プロポーザル方式で入札を実施した結果、新たな委託契約先として城南給食センターを選定し、5月1日から給食提供が始まっております。

次に、若竹苑の事業に関しましては、苑内に授産検討委員会を設置し、就労継続事業における授産内容の検討を定期的に行うことといたしました。現在は、新たな作業の可能性や新製品の検討、自主製品の完成度のアップなどを中心に検討しております。

利用者の実習状況につきましては、就労継続利用者として初めて1名の利用者が長岡京市内の清掃会社の実習に入りました。就労移行事業では延べ10名が管内4事業所で交替で実習中でございます。また6月1日からは山科区の造園会社におきまして、就労移行の利用者1名が雇用を前提としたトライアル雇用に入っております。

終わりに、平成20年度就労継続利用者の平均工賃が1万288円となり、若竹苑として初めて1万円を超えたことを報告させていただきます。

引き続き、ポニーの学校についてご報告申し上げます。

4月からの利用児につきましては、向日市35名、長岡京市49名、大山崎町6名、合計90名となっております。その内訳は、定期利用児が87名、月1回利用児が3名でございます。

行事等につきましては、年間実施計画に従い5月15日に春の遠足を実施し、16組、38名の親子の方が参加して宝ヶ池こどもの楽園に行きました。

次に、介護障害審査課の関係でございます。

まず、介護認定審査会の平成20年度の審査判定結果でございます。お配りさせていただいております資料の1ページ目にその概要を記載いたしておりますけれども、合議体を延べ186回開催し、5,102件の二次判定を行いました。また、本年4月、5月における審査状況でございますが、合議体を30回開催し、916件の二次判定を行いました。

次に、障害程度区分認定審査会の平成20年度の審査判定結果でございますが、合議体を延べ24回開催し、85件の二次判定を行いました。本年4月、5月における審査状況は、合議体を4回開催し、46件の二次判定を行いました。

また、介護認定審査会及び障害程度区分認定審査会委員の任期満了に伴いまして、乙訓地域の医療、福祉、保健の各分野からご推薦をいただいた方々を本年4月3日に、介護認定審査会委員56名、また障害程度区分認定審査会委員14名の皆さん

に新たに委員としてご就任いただいたところでございます。

委員の皆様には、今後2年間、それぞれの審査会で、公正、公平な二次判定を行っていただきます。

最後に、乙訓圏域障害者総合相談支援センターについてご報告申し上げます。

支援センターは乙訓圏域内の障がい者に関するネットワークの構築、障がい者ケアマネジメントの推進を業務としておりまして、その一環として二市一町が共同で設置された乙訓圏域障害者自立支援協議会の事務局を担っております。

乙訓圏域障害者自立支援協議会につきましては、4月30日に29機関、団体の参加を得て全体会が開催されました。20年度の各部会等の報告を受けまして、21年度におきましては、3部会、医療的ケア部会、地域生活支援部会、就労支援部会の設置や、相談支援体制を充実させる等の事業計画が決められました。

以上、簡単でございますが、3月以降の報告とさせていただきます。

山本圭一議長 以上で、管理者諸報告を終わります。

次に、日程4、例月出納検査結果の報告であります。監査委員の報告を求めます。
前田監査委員。

前田 進監査委員 例月出納検査の結果を報告いたします。

地方自治法第235条の2第1項の規定に基づきまして、例月出納検査を平成21年3月26日、4月23日及び5月25日に実施いたしましたので、同法第235条の2第3項の規定により、その結果を報告いたします。

検査の結果につきましては、お手元にお配りいたしました報告書のとおりでございます。なお、報告書に記載のとおり、各月の出納などについては適切に処理されておりました。

以上で、例月出納検査結果の報告を終わります。

山本圭一議長 以上で、例月出納検査結果の報告を終わります。

日程5、第9号議案、京都府市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び京都府市町村職員退職手当組合同約の変更についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

久嶋管理者。

久嶋 務管理者 日程5、第9号議案、京都府市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び京都府市町村職員退職手当組合同約の変更につきまして、ご説明申し上げます。

本件につきましては、提案理由にもございますように、組合を構成する団体の解散に伴う規約変更であり、具体的には平成21年3月31日をもって相楽郡笠置町南山城村中学校組合が解散したことによる減少に伴うものでございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

山本圭一議長 説明が終わりました。これより質疑に入ります。

ご質疑ございませんか。

(「なし」の声あり)

質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。ご意見ございませんか。

(「なし」の声あり)

ご意見もないようですので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。

第9号議案について、原案のとおり可決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手全員であります。よって、第9号議案は原案のとおり可決することに決しました。

山本圭一議長 日程6、議員の派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。会議規則第144条の規定に基づき、来る7月10日に実施する本組合議会議員視察研修に全議員を派遣することといたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、全議員を派遣することに決定いたしました。

以上で、本日の議事日程はすべて終了いたしました。会議を閉じる前に、何かご意見ございませんか。

飛鳥井議員。

飛鳥井佳子議員 先ほど、久嶋管理者のご報告がありまして、そのことにつきまして要望を述べさせていただきたいと思うんですけれども、乙訓で竹の産業をみんなで研究していこうというプロジェクトがあって、その報告書をいただいたんです。

それで、長岡京市さんの方で竹チップを製造する機械を、府から半額補助を得て、お使いになって、大変、農業の肥料とかね、いろいろ竹チップがいい効果があるというふうな報告があったんです。私は一般質問でも、向日市では言ってるんですけど、今、若竹苑の方で山科区の造園会社にトライアル事業でお一人頑張っておられ

るという話があったんですけども、この乙訓である程度収益の上がる仕事をつくっていくという意味で、竹の産地ですから、竹チップを利用して、つくって、それを袋に詰めて、それで農家組合との懇談会も向日市ではやってるんですけども、農業者の方にそれを農業にご利用いただくとか、また非常に香りがいいので、竹チップを、猫とか飼っておられる方のトイレに入れると、室内で大変利用度が高いということで、結構、市販されているものはものすごく高い値段になってるんですけども、もともと乙訓は住宅開発などで、材料はたくさんあるわけで、そういう廃棄された竹とかを使って竹チップの機械を一つ乙福でも用意されたら、それでその袋詰めとかのお仕事ができるのではないかというふうに私は思っておりましたら、乙訓の方で、みんなで研究しますというふうな、向日市ではそういう方向でご回答をいただいたわけなんですけれども、ぜひそういう、何か向日市でいろいろ仕事をつくるということを、ぜひこれからも研究していただきたいというふうにお願ひしたいと思います。

山本圭一議長 瀬川議員。

瀬川光子議員 先ほど、管理者の方からご報告されました介護あるいは障害認定のことなんですけど、新たに介護が56人、障害が14人の審査員が新たに決まったということで、よかったと思うんですけども。

本当にたくさん、今介護を受ける人、また障がいがかかりふえてきていると思います。特に高齢の方の障がいがかかっていると思うんですね。やはりこの二次審査というのが非常に大事な審査、言うまでもないことですが、本当に高齢者とか障がい者の生活とか命にかかわる、そういう大変な審査だと思うんですね。

先ほど、公正、公平な立場でとおっしゃったんですけども、本当にそのとおりしていただきたいと思うんですけども、本当に高齢者、障がい者の一人一人の状況の把握ですね、実態と、あるいは生活環境と、そういうものを本当にきめ細かく調査していただいて、本当に一人一人が、お金があるなしにかかわらず、障がいあるいは介護にかかわって、十分な支援が、サービスが受けられるような認定審査になっていただきたいと思いますので、その辺を節に要望しておきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

山本圭一議長 ほか、ございますか。

山田議員。

山田千枝子議員 意見なんですけれど、介護のことも、私も思ってたんですけど、これは、修正件数見ていても、ちょっと下方修正も多いので、今度から介護の認定も

変わりましたしね、コンピュータも変わってますし、先ほど言われたように、本当に低い方について、特に下方になられた方についてはね、十分に、変わっておられないか、そういうようなところきちっとしてほしいなと、利用者のニーズに合うように、できるだけね、やっぱり、してほしいなと思うんですけど。それ、要望です。

もう一つ、給食の関係でね、今、城南給食センターを、5月1日からということで、新たに、新しい給食センターになったいきさつと、それから値段とかね、そういうのがどういうふうになってるのかと。幾つぐらいの業者が大体こられて検討されたのかということと。

もう一つ、授産検討委員会が若竹苑でできたということなんですけれど、この授産検討委員会のメンバーとか、そしてこれはどういう、いつごろ、目標と言うのかね、そういうものを、計画と言うかね、そういうようなものはどういうふうにしていけるのか。

と言いますのが、向日市のライフシティにありました、若竹苑とかいろんな福祉施設の方がやって、頑張っておられたんですけど、あそこがもうなくなっていくと言うかね、そういうこともあれなんで、ちょっといろいろと、やはり厳しい今の経済状況もありますのでね、あの辺の、頑張ってやってこられたのに、なぜ、あそこ、もうやめていけるのか、その辺のこともお聞きしたいと思います。

山本圭一議長 行田若竹苑施設長。

行田秀生若竹苑施設長 まず、給食調理業務の見直しの件でございますが、事務組合の内規といたしまして、3年以上同一業者で業務委託することについて、見直しを少なくとも3年ごとにかかけようという内規がございます。魚国さんに給食調理業務をお願いして、それが3年になるということで、3年目の見直しを行ったわけでございます。

まず、その方法といたしましては指名競争入札という形で、方式としましてはプロポーザルという形で実施いたしました。業者は4業者選定いたしました。それぞれこちらの条件に基づく提案というのをさせていただきました。その中で3業者が残りました。その内容につきまして、事務組合内の管理職を中心とした委員会でその内容を調査いたしまして、その中から2社が残ったということでございます。その2社が城南給食さんと魚国さんという形になりました。

そして実際に給食を調理していただきまして、これは管理職だけではなく、若い職員、女性の方、幅広く参加していただいて、それについて採点をしたというこ

とでございます。その結果、城南給食さんの方に軍配が上がったというようなこと
でございます。

値段につきましては、一応提案書をいただく段階で1食595円以下という条件
をつけました。それからもう一つは、要するに実際に食べた食数で請求していただ
くと。月額幾らというふうに定めるのではなしに、実際に利用者や職員が食べたそ
の食数で請求していただく。そういう二つの条件をつけさせていただきました。そ
の中で、城南給食さんは570円という値段をつけられたということでございます。

それから、授産の方の検討委員会のメンバーとしましては、就労継続Bの職員、
これを中心といたしまして、就労移行の職員、それから生活介護の職員、そこから
もピックアップいたしまして、検討委員会というのをつくっております。計画とい
たしましては、一応今年度内にある程度の答えというのを出したいというふうに思
っております。

と申しますのは、工賃目標達成加算というものがございます。それにとにかく乗
つける方向で内部的には努力していきたいということでございます。そのためには、
こういう倍増計画というものを作成して、府の方へ届ける必要がございますので、
そのようなこと考えながら、今、検討を進めてもらっております。

それから、陽だまり庵の件でございますが、乙訓障害者支援事業所連絡協議会と
いうのがございまして、そこで授産をやっているところが中心メンバーになって、
ライフシティの中の陽だまり庵というのを活用させていただいたということでござ
いいますが、昨今のやはり経済的な問題で、テナントをふやしたいという形で、場所
の明け渡しの方のお願いをされました。

実は、今日が最終特売セールでございます。来週になりましたら、備品等を片づ
けるという予定になっております。

このことにつきましては、陽だまり庵に関係していた施設職員、非常にやはり残
念に思っております、これにかわるものは何かないのかと、それを模索する方向
で今動こうとしているところでございます。

山本圭一議長 山田議員。

山田千枝子議員 ありがとうございます。城南給食の場所はどこなのか聞くのを
忘れたんですけど、名前はよく聞いているんですけど、少し、乙訓圏内でなかつ
て、時間がかかったりとか、そういうことなんかもちよっと心配がないのかとい
うことと。

それから、今、就労継続の検討委員会の今年度中にその計画、今年度中につくっ

ていきたいということで、府に倍増計画なんかも出していくということで、工賃目標達成加算ですか、これが大きな目標だということなんですけれど、議会にはどういう形で、これから、過程の中で、どういうふうな形で示していただくのかということと。

それから、陽だまり庵の件ではね、本当に残念だなと思うんですね。なかなか障がいの方々の居場所というのが、どうしても厳しい状況で、出ていかざるを得ないということなんですけれど、今後やっぱりあそこで働きがいか、かかわりとか、交流とかね、いろんな目的があったと思うんですけれど、その目的に応じられるような場所を、ちょっとやっぱり若竹苑が中心になりながらね、一緒に考えていってもらって、ぜひね、どこかに、別に向日市じゃなくても、長岡京市でもね、長岡なんか真ん中でいいかなと思ったりするんですけれど、そういうようなところで早急に探していただきたいなというふうに、これは要望なんですけれど、お願いします。
山本圭一議長 行田若竹苑施設長。

行田秀生若竹苑施設長 城南給食センターの所在地でございますけれども、城陽市です。それから議会の方へどのような形でというご質問でございます。少しずつ形になりましたら、それについて管理者諸報告等の中に盛り込ませていただきたいというふうに思っております。

山本圭一議長 飛鳥井議員。

飛鳥井佳子議員 今の山田議員のおっしゃってる陽だまり庵のことなんですけど、私もこれ、350円で愛用してるんですけど、この議員手帳にぴったりで、ほんまにありがたいさをり織りなんですけどね。だから、市役所とか公民館とかコミセンとか、そういうところにね、少し館長さんとかのお仕事がふえるかもしれないけども、置かせてもらうとか、できればそういう方が何時から何時までそこにいるとかね、そういうのを、市民の中に入ってお仕事されるのはすごくいいんじゃないかというふうに思うんですね。

高槻の市役所、私よく行くんですけど、あそこ、いろんなもの売ってくれはるんですよね。服買ったりするんですけど、いろんなものが、お店とかもいろいろ来て、それで昼休みに売ってはるんですけどね。

今、向日市ではひまわり園の方がパンを売りにきてくださったりしてるんですけど、何かそういう公共施設を利用してできないかなというふうに、今ふと思いましたが、それについては無理な話なんでしょうか。

山本圭一議長 行田若竹苑施設長。

行田秀生若竹苑施設長 工賃をいかにして倍増するかというのは、若竹苑だけでなしに、そういう工賃を支給することを目的にしている施設にとっては大きなテーマということでございます。今年度も3月、それぞれの市町の方に、この乙訓の障害者施設連絡協議会ですね、そちらの方で扱っている物品、それからそこで提供できる役務、そういうものを一覧表、セットにいたしまして、それぞれ部長会等で障がい福祉関連部署だけでなしに、幅広く官公需の発掘ということでお願いしたところでございます。

現在のところ、そこから刈り取るほどのものはございませんけれども、この乙訓の乙障協全体として刈り取るほどのものはまだ発生してきておりませんけれども、それぞれの市町の中で記念品としてですね、ある部分を購入していただいたりということがぼつぼつとございます。そういったあたりも少しずつ膨らませていけたらいいなというふうに思っております。

それから、これもまた乙訓若竹苑だけではなしに、乙障協というところに属している各施設がそれぞれ販売ルートというものを求めております。それぞれの施設で努力するというのが原則ではありますけれども、乙障協の中でも共同して、そういう販路の開拓ができないかということが大きなテーマになっております。そこら辺の組織等も活用しながら、乙訓のいろいろな障がい者施設が潤うような、そういう方向でやっていけたらなというふうに考えております。

山本圭一議長 ほか、ございませんか。

山田議員。

山田千枝子議員 ちょっと言いますとね、やっぱり陽だまり庵は販売の販路はもちろんのことね、やはり交流とか、売る喜びとか、コミュニケーションの喜びとかね、そして理解とか、さまざまないろんなものがあの中にはあって、あそこを開店されてたんですね。

そういう意味では、出ていかざるを得ない状況になったときにね、これをどうするかという問題は、やっぱり、その検討委員会ですかね、そういうこともやっぱりやらしてもらわないと、その事業者ライフシティから言われたというだけでね、それで、はいそうですかということで、ああ、仕方がないなというようなものになってしまうとね、やっぱりぐあい悪いんじゃないかなと思うんです。

そういう点について、今後やはりこのことを検討してもらうような形では、管理者どうなんでしょうか。

山本圭一議長 上田事務局長。

上田久幸事務局長 ただいまのご質問の件でございますが、今後状況なり、またどういふふうな形で、乙障協なり、また各施設で検討されると思うんですけど、そういうような内容につきまして情報収集いたしまして、ある一定の話し合いをできる場を、できたら調整してというような方向で検討してみたいと思います。

山本圭一議長 ほか、ございませんか。

飛鳥井議員。

飛鳥井佳子議員 ちょっと話変わるんですけど、この間、市民会館で「ふるさとをください」という精神障がい者の施設の映画がありましてね、そのとき思い出したんですけども、その映画と同じようなことが向日市でもあって、二市一町ご協力いただいてひまわり園ができたわけですけども、そのときも地元の町内がね、文章化して、ひまわり園を、来るなど、地価が下がるとかね、施設が要るとわかるけども、何でうちの町内なんだとか。

そういう大変ひどい内容の文章が出て、岡崎前市長、大変苦しまれたんですけども、まだまだ理解が非常に乏しいと思いますし、完全参加と平等と言っていた時代だけれどもね、やっぱりノーマライゼーションという言葉になっても、やっぱりなかなか、一回すり込まれた差別感というのは次にまた再生産されていくような感じで、いつまでたっても障がい者の理解が、心の中から、心のバリアフリーができてなくて、施設は何とかちょっとバリアフリーにしても、なかなか人間の心の中の方が育っていないということがあるので。

いつもいつもそういう施設の、つくられた商品がね、いつもまちの中で最優先に使われるような、そういうまちに変えていくために、やっぱりどんどん、まず公の施設に、京都府庁へ行ったら並べてありますけどね、ガラスケースに入ってるけど、そういうのがすぐ手に入るようにして。

それで、今グループホームなんかで頑張ってる障がい者の方々いらっしゃって、一生懸命働いてるけども、お給料がやっぱり少ないから、生活のためのお金使ったらもう自分の何か楽しい、ちょっと旅行に行くとか、そういうお金はもう全然出ないという中で、寂しい思いをしてる青年もたくさんこのまちで見受けますので、やっぱりお給料がちゃんと出るように、そういう、また市民も協力して買うように、そういうことをもっとしっかりこの乙福の中からね、いろいろ知恵を絞っていただいて、身近にいろんな障がい者の人たちが生き生きと暮らせるような、そういう仕組みをね、仕掛けをつくっていただきたいというふうに思います。よろしくお願ひします。

山本圭一議長 要望でいいですか。ほか、ございませんか。

ほかにご意見もないようですので、これにて会議を閉じたいと存じます。

来る7月に、向日市議会議員の役員改選がございます。再びこの議会にお見えになれることもあろうかとは思いますが、ごあいさつをいただきたいと思います。存じます。

山田議員。

山田千枝子議員 長い間、福祉事務組合でお世話になってありがとうございました。まだ視察が残っておりますけれど、こちらに、あとはどうなるかわかりませんが、本当にいろいろなことで、障がいをお持ちの方や、また事務組合で働いておられる職員の皆さんの努力とか、本当にいろいろなことを勉強させていただきました。これからも仕事に誇りを持ちながら、職員の方々、頑張ってくださいたいし、乙訓地域の障がい者の方々のリーダー役として、この若竹苑、ポニーの学校、介護保険の問題も、障がい者の問題もあります。頑張ってくださいたいと思います。本当にいろいろとご協力いただいて、ありがとうございました。お世話になりました。

山本圭一議長 長尾議員。

長尾美矢子議員 議員にならせていただきまして、最初から乙福の方にかかわらせていただきまして、本当に勉強させていただくことばかりで、なかなかわからない点も多かったんですけども、本当にお世話になりました。

今後また、どういう立場にさせていただくかわかりませんが、しっかり本当に大事な乙福がますますご発展されるように、また私の立場でしっかり応援、協力、また皆様のお役に立てることがありましたら、しっかり頑張っていきたいと思います。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

山本圭一議長 飛鳥井議員。

飛鳥井佳子議員 いろいろとお世話になりました。ありがとうございます。私、地域で小さい子供会をずっと何十年もやってるんですけど、半分ぐらいがハンディを持った子供さんで、非常に動物が好きですね、それで、やっぱり、しつこいようなんですけど、カブトムシを何とかして、それで、本当にきれいなね、乙訓というのはね、緑が多いので、それで紫色に白い点々のすごいきれいなカミキリムシとか、何かいっぱい発見があるんですよ。

忙しくて、大人は気がつかないけども、それがどれほどに子供たちの、みんなのね、学校の子供たちのみんなのね、心の中にね、そういうのがどれだけいい効果になるかという、そういう、そして弱いものをいじめないとか、カブトムシにちゃんとえさをやるとか、そういう子供たち、今すごくうれしいので、ぜひ、ここ、そう

というのが、勝手に育つような山がいっぱいあるので、ぜひカブトムシのお店も西京区にはえらいちゃんとしたお店があるんですけど、商売になるようでございますので、ぜひ、もし今度乙福に帰ってこれなくてもですね、どうか心の片隅にカブトムシもおったということを、ぜひお忘れなくよろしくお願いします。本当にお世話になりました、ありがとうございました。

山本圭一議長 それでは、これをもちまして、平成21年乙訓福祉施設事務組合議会第2回定例会を閉会いたします。ご苦労さまでございました。

(閉会 午前10時35分)

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

乙訓福祉施設事務組合議会議長 山本圭一

会議録署名議員 祐野恵

会議録署名議員 西林哲人